

ベースロード市場について (2023年度第2回オークション結果概要)

2023年11月27日(月)

第91回 制度設計専門会合

事務局提出資料



電力・ガス取引監視等委員会
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

本日御報告する内容について

- 2023年度第2回オークションが本年10月20日に実施されたため、本日はその結果概要を御報告するもの。

(参考) 2023年度オークションにおける取扱い予定商品とスケジュール

- BL市場における2023年度オークションの取扱い予定商品とスケジュールは以下のとおり。

第79回制度検討作業部会
(2023年5月25日) 資料5より抜粋

<各オークションにおいて取り扱う商品>

	第1回	第2回	第3回	第4回
1年商品 (制度的供出量割合※1)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5%+α※3)	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 (制度的供出量割合※2)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	—

※1：同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く。

※2：前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く。

※3：第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量α

<BL市場の取引スケジュール>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
従来の取引 スケジュール		● 第1回オークション ★ 容量市場 追加オークション	←約2か月→	● 第2回オークション	←約2か月→	● 第3回オークション		● 第4回オークション (供出は任意)		
2023年度以降の 取引スケジュール		★ 容量市場 追加オークション	● 第1回オークション	←約1.5か月→	● 第2回オークション	←約1.5か月→	● 第3回オークション	● 第4回オークション (供出は任意)		

第2回オークションの結果概要（1年商品、固定価格取引）

- 総約定量は、第1回オークションの1/4程度に減少。エリア別には、主に西日本で約定しており、九州では約定がなかった。
- 約定価格は、第1回オークションとほぼ同水準（東日本：16.95円/kWh、西日本：11.62円/kWh）となった。この水準は、先物価格と比べても高くない（東日本ではほぼ同水準、西日本では先物価格よりも約1.5円/kWh低い）。
- 約定量の減少は、第1回オークションにおいて、需給の目線が一致していた部分が約定した結果と考えられる。

エリア	(今回) 2023年度第2回オークション			売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格*2
	約定量	約定価格	約定割合			
東日本	11.7MW(1.02億kWh)	16.95円/kWh	0.7%	—	—	16.98円/kWh
西日本	92.0MW(8.06億kWh)	11.62円/kWh	5.6%	—	—	13.15円/kWh
九州	—	—	—	—	—	13.15円/kWh
合計	103.7MW(9.08億kWh)	—	—	19.25円/kWh	12.23円/kWh	—

(参考) 2023年度第1回オークション結果概要

	約定量	約定価格	約定割合	売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格*2
東日本	116.5MW(10.21億kWh)	16.99円/kWh	6.8%	—	—	16.31円/kWh
西日本	324.6MW(28.43億kWh)	11.05円/kWh	16.6%	—	—	13.12円/kWh
九州	2.0MW(0.18億kWh)	13.03円/kWh	0.6%	—	—	13.12円/kWh
合計	443.1MW(38.82億kWh)	—	—	19.04円/kWh	12.33円/kWh	—

*1：事務局にてBLオークション約定結果を基に全エリアの売札及び買札の加重平均価格を算出。

*2：オークション当日（第1回8/31、第2回10/20）におけるTOCOM電力先物・ベースロード 2024年4月限～2025年3月限までの単純平均値。

第2回オークションの結果概要（2年商品、事後調整付取引）

- 第2回オークションでの約定はなかった。
- 短期商品と同様、第1回オークションにおいて、需給の目線が一致していた部分が約定した結果と考えられる。

エリア	(今回) 2023年度第2回オークション				売札平均価格*1	買札平均価格*1
	約定量	約定価格	燃料費調整係数*2	約定割合		
東日本	—	—	—	—	—	—
西日本	—	—	—	—	—	—
九州	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	17.14円/kWh	13.75円/kWh

(参考) 2023年度第1回オークション結果概要

	約定量	約定価格	燃料費調整係数*2	約定割合	売札平均価格*1	買札平均価格*1
東日本	99.1MW(8.68億kWh)	19.22円/kWh	0.33	45.3%	—	—
西日本	96.4MW(8.44億kWh)	14.21円/kWh	0.06	47.6%	—	—
九州	1.1MW(0.1億kWh)	14.35円/kWh	0.17	1.8%	—	—
合計	196.6MW(17.22億kWh)	—	—	—	17.51円/kWh	15.94円/kWh

*1：事務局にてBLオークション約定結果を基に全エリアの売札及び買札の加重平均価格を算出。

*2：取引時点の全日本通関統計価格に基づいて、石炭価格が1,000円/t変動した場合の変動額（円/kWh）を事後調整単価としている。

各社の燃料費の見積りについて（1年商品、固定価格取引）

- 各社が供出上限価格の算定に織り込んだ石炭燃料費の見積り単価と、①石炭先物価格、②直近の現物価格との乖離率、をそれぞれ確認したところ、概要は下表のとおり。
- 全体の単純平均を見ると、第1回オークションと比べて、乖離率は概ね同水準となっており（先物価格との乖離：+55%→+65%、直近の現物価格との乖離：+39%→+49%）、乖離率が最も大きい事業者においては、依然として先物価格より150%程度高い水準となっている。

■ 石炭燃料費見積り単価と先物価格との比較

単位：円/t	石炭先物価格 ※1	石炭燃料費見積り単価※2			石炭先物価格との乖離（%）		
		各社最低価格	各社平均価格	各社最高価格	最小	平均	最大
2023年度第2回	23,462	26,685	38,772	60,318	+14%	+65%	+157%
2023年度第1回	24,522	27,724	38,025	62,208	+13%	+55%	+154%

■ 石炭燃料費見積り単価と貿易統計との比較

単位：円/t	石炭価格 貿易統計 直近値※3	石炭燃料費見積り単価※2			貿易統計との乖離（%）		
		各社最低価格	各社平均価格	各社最高価格	最小	平均	最大
2023年度第2回	26,063	26,685	38,772	60,318	+2%	+49%	+131%
2023年度第1回	27,391	27,724	38,025	62,208	+1%	+39%	+127%

※1石炭先物価格は、オークション時点のICE Newcastle Coal Futuresの単純平均を当日の為替レートに乗じて算出。
 （2023年10月20日 2024年4月限～2025年3月限）（出所）Barchart HP及びみずほ銀行HPを基に事務局にて作成。
 ※2石炭燃料費見積り単価には、リスクプレミアム・フレート代・その他等も含む。
 ※3財務省 貿易統計を基に事務局にて作成（オークション実施月平均）

現時点のまとめ

- 2023年度第2回オークションにおいては、第1回オークションと比べて、約定量が減少しているが、これは第1回オークションにおいて需給の目線が一致していた部分が約定した結果と考えられる。
- 2023年度第2回オークションについて、電力・ガス取引監視等委員会（親委員会）での監視の結果、供出量・供出上限価格のいずれの観点からもガイドラインに違反している事例は認められなかった。
- 一方で、事業者単位で見ると、依然として非常に大きなリスクプレミアムを織り込んでいる事業者が一部いることも確認された。当該リスクプレミアムの織り込みについては、ガイドライン違反とは言えないものの、制度趣旨を没却させかねない入札行動と考えられるため、当該事業者に対しては、改善の検討を求めた。
- 上記も踏まえ、引き続き、第3回オークションについても厳格に監視を行っていくこととしたい。

※受渡し期間が1年の取引について、燃料費が事後的に調整される取引が行われるのは、第3回オークションのみであり、燃料費のリスクプレミアムに関する最終的な評価は、少なくとも第3回オークション結果まで確認した上で行うことが妥当と考えられる。